

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

(Japan Wood-Products Export Association)



団体の概要

概要及び設立時期

日本木材輸出振興協会は、林業事業体、製材等の製造業者、流通業者、輸出商社、森林・木材関係の全国業界組織、自治体等で構成される一般社団法人。日本木材輸出振興協議会（平成16年3月設立）を母体に、平成23年1月26日に設立。

目的

以下の事業を通じて、国産材（国内で生産された丸太、加工品及び木造住宅部材等）の輸出を振興する。

- ① 国産材の輸出拡大に資するための相手国のニーズにあった木材加工技術の調査及び開発等による需要開発
- ② 国産材の輸出に関する国内外の関連情報の収集及び調査研究
- ③ 国産材の輸出拡大に必要なセミナー、講習会の開催

代表者

会長 山田壽夫

会員

全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、全国森林組合連合会、ジャパン建材株式会社、越井木材工業、協和木材、北三、ナイス、阪和興業、ポラテック、都道府県 他

全144会員※

※令和7年5月26日時点

主な取組

業界関係共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

- ・ スギ、ヒノキの2×4構造材の性能検証に取組み、設計強度の認可を米国製材規格委員会より取得
- ・ 米国建築関係展示会への出展等を通じ、スギ、ヒノキの性能や特徴の広報活動を実施
- ・ 環境面、コスト面から望ましい輸出木材用ラッピングシートを検討・試作



米国検査機関でのスギの強度試験
令和5年11月
(米国オレゴン州 オレゴン州立大学)



米国建築関係展示会（IBS）への出展
(令和6年2月、米国ラスベガス市)



■ 主な取組（続き）

海外等におけるジャパンブランドの確立

- ・ 日本産木材製品の輸出口ゴマークを作成し商標登録するとともに普及を推進
- ・ ベトナムのジャパンウッドステーション（JWS）を拠点とし、展示会等を通じて日本産木材の利用促進活動を実施
- ・ 日本産木材製品の技術や品質をPRするためパンフレットや動画を作成・発信



日本産木材製品PR動画「木の国、日本」を協会ウェブサイトから発信



日本産木材製品輸出口ゴマーク「JAPAN WOOD」

海外等における販路開拓活動

- ・ 中国、韓国、台湾において日本木材製品の利用促進を図るセミナーを開催
- ・ 中国、韓国、台湾から木材輸入企業を日本に招聘し、国・地域ごとセミナーや商談会を開催
- ・ 中国、韓国、台湾の展示会に日本企業と連携しジャパンパビリオンを出展



ベトナムベッドビルド展示会への出展
(令和6年10月、ベトナムホーチミン市)



韓国展示会（ゴリアビルド 2024）への出展
(令和6年7月、韓国ソウル市)



日本木材製品利用促進セミナー
(令和6年10月、中国南京市)

相手国ニーズへの対応に必要な業界統一規格等の策定・普及等

- ・ 製材及び保存処理木材の輸出に資する既存規格をガイドラインとして取りまとめ、公開

輸出ターゲット国・地域の市場・規制等調査及び新規輸出国開拓に向けた調査

- ・ 中国、韓国、台湾、米国における最新の木材市場情報を取りまとめウェブサイトから発信
- ・ インド・インドネシア・オーストラリア等における木材市場調査を実施

〔 日本木材輸出振興協会からの聞き取り等を基に農林水産省が作成 〕